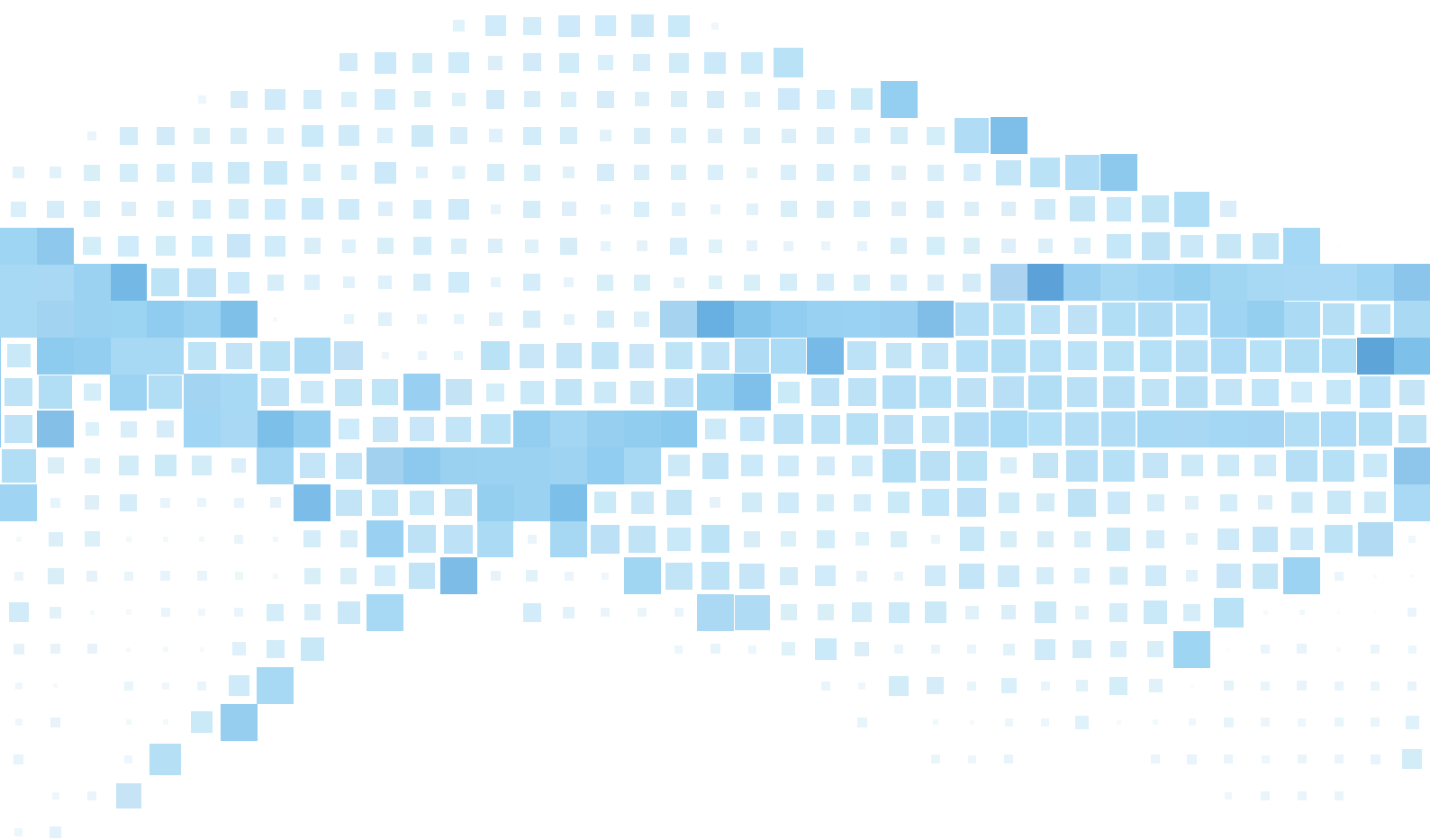


金沢大学 産学官・知財関連レポート 2019



金沢大学
KANAZAWA
UNIVERSITY

先端科学・社会共創推進機構

Frontier Science and Social Co-creation Initiative

金沢大学 産学官・知財関連レポート 2019 目次

1. 金沢大学先端科学・社会共創推進機構について	1
・ 組織	1
・ 機構スタッフ紹介	2
2. 共同研究について	3
・ 共同研究件数・受入額（年度別）	3
・ 平成30年度 共同研究 分野別実施状況（293件）	3
・ 共同研究実施件数及び研究費受入額における個別実績（平成29年度）	4
※文部科学省「平成29年度大学等における産学連携等実施状況について」（抜粋）	
3. 平成30年度 共同研究一覧	5
4. 特許出願について	10
・ 発明届出・特許出願件数（年度別）	10
・ 平成30年度 特許出願 分野別内訳（41件）、教育研究職員 分野別割合	10
5. 平成30年度 公開特許出願一覧	11
6. 特許実施許諾について	13
・ 特許権実施等件数（外国分含む）（年度別）	13
・ 特許権実施等収入額（外国分含む）（年度別）	13
・ 特許権実施等件数及び収入における個別実績（平成29年度）	14
※文部科学省「平成29年度大学等における産学連携等実施状況について」（抜粋）	
7. 共創型研究支援プロジェクトについて	15
8. ご案内	17
・ 技術相談について	17
・ 金沢大学の研究シーズと特許技術の活用について	17
・ 協力会会員企業様向け支援について	17
・ 包括連携協定について	18
・ 共同研究について	19
・ 金沢大学先端科学・イノベーション推進機構協力会のご案内	21

1. 金沢大学先端科学・社会共創推進機構について

先端科学・社会共創推進機構は、基礎研究から応用研究に至る全領域の研究支援と、産学官連携により得られる研究成果の社会還元を促進するため、従来、研究推進及び産学連携・知的財産管理を担当していた先端科学・イノベーション推進機構と、地域社会との連携・課題解決を担当していた地域連携推進センターを統合し、2019年2月に発足しました。

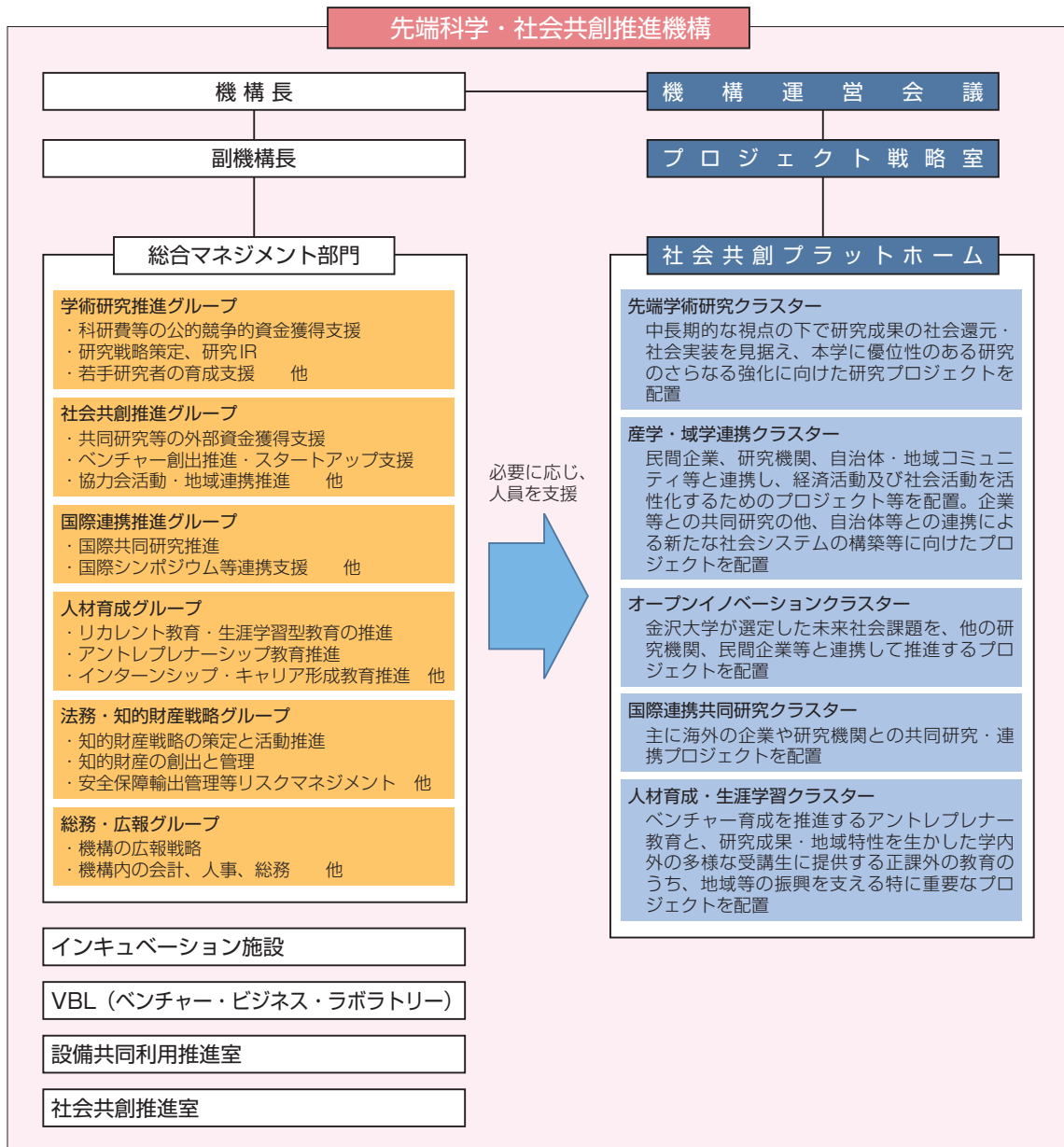
産学官連携推進においては、引き続き、研究成果の社会還元を促進し、もって本学の教育研究の活性化と社会貢献に資することを目的として活動いたします。

組織

本機構は、総合マネジメント部門と関連施設等で構成されます。

総合マネジメント部門は、教員、URA、事務職員等が複層的に各グループに所属し主たるグループ業務に従事します。併せて、本学の社会共創の核となる様々なプロジェクトに対し、総合マネジメント部門から複数の担当者を配置し、編成されたチームがプロジェクトの推進を支援します。

産学官連携推進活動や知的財産の権利化・活用推進は、主に社会共創推進グループと法務・知的財産戦略グループのメンバーが担当いたします。



機構スタッフ紹介

機構長

福森 義宏 (理事 (社会連携担当)・副学長)

副機構長

向 智里 (理事 (総括・改革・研究・企画評価担当)・副学長)

中沢 正隆 (理事 (産学連携・高等教育改革担当))

坂本 二郎 (学長補佐 (地域・産学連携担当))

総合マネジメント部門 (グループリーダー、サブリーダー以外は主たる所属のみを記載)

学術研究推進グループ

*グループリーダー	安川 直樹 (准教授)	荒砂 茜 (特任助教)	越村有希子 (事務補佐員)
サブリーダー	稲垣 美幸 (准教授)	石川 桃絵 (特任助教)	
		佐藤 智哉 (特任助教)	
		松本 理沙 (博士研究員)	
		加藤由美子 (研究員)	
		安藤 明珠 (研究員)	

社会共創推進グループ

*グループリーダー	安川 直樹 (准教授)	池島 裕之 (特任准教授)	新本かおり (事務補佐員)
サブリーダー	目片 強司 (准教授)	平子 紘平 (特任助教)	
		布川 正史 (特任助教)	
		石黒 渉 (専門員 (産官学連携シニアコーディネーター))	

国際連携推進グループ

*グループリーダー	稲垣 美幸 (准教授)
サブリーダー	安藤 明珠 (研究員)

人材育成グループ

*グループリーダー	宇野 文夫 (特任教授)	黒石健太郎 (特任准教授)	嘉瀬井恵子 (教務補佐員)
サブリーダー	蜂屋 大八 (准教授)	伊藤 浩二 (特任准教授)	岸岡 智也 (教務補佐員)
		北村 健二 (特任助教)	本田さくら (教務補佐員)
		淑瑠ラフマン (博士研究員)	牧 淑江 (教務補佐員)
		掛野 由香 (研究員)	梅下 奈緒 (事務補佐員)
		國司田晴美 (研究員)	葛城地都子 (事務補佐員)
			木村美智子 (事務補佐員)
			高田美智代 (事務補佐員)
			新田 優子 (事務補佐員)
			横野 健二 (事務補佐員)

法務・知的財産戦略グループ

*グループリーダー	目片 強司 (准教授)	喜多 健太 (一般職員)
サブリーダー	野村 綾子 (特任助教)	

総務・広報グループ

*グループリーダー	渡辺 良成 (教授)	加藤真由美 (事務補佐員)
サブリーダー	佐藤 智哉 (特任助教)	岩下 祐美 (事務補佐員)

インキュベーション施設

施設長 玉井 郁巳 (教授)

VBL (ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー)

ラボ長 玉井 郁巳 (教授)

設備共同利用推進室

室長 中西 義信 (特任教授)

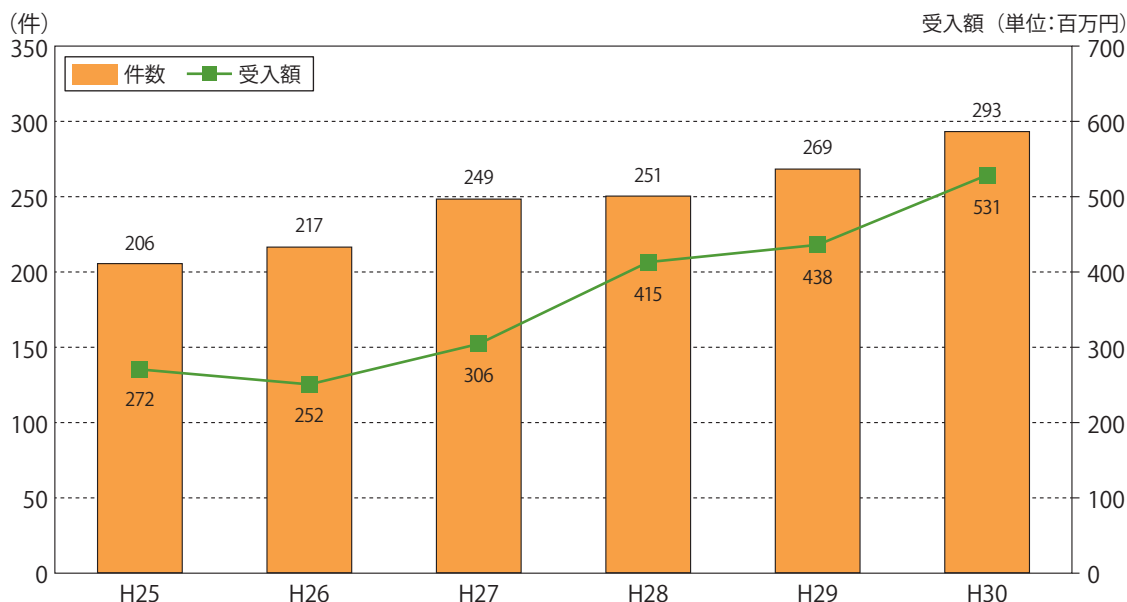
社会共創推進室

室長 佐無田 光 (教授)

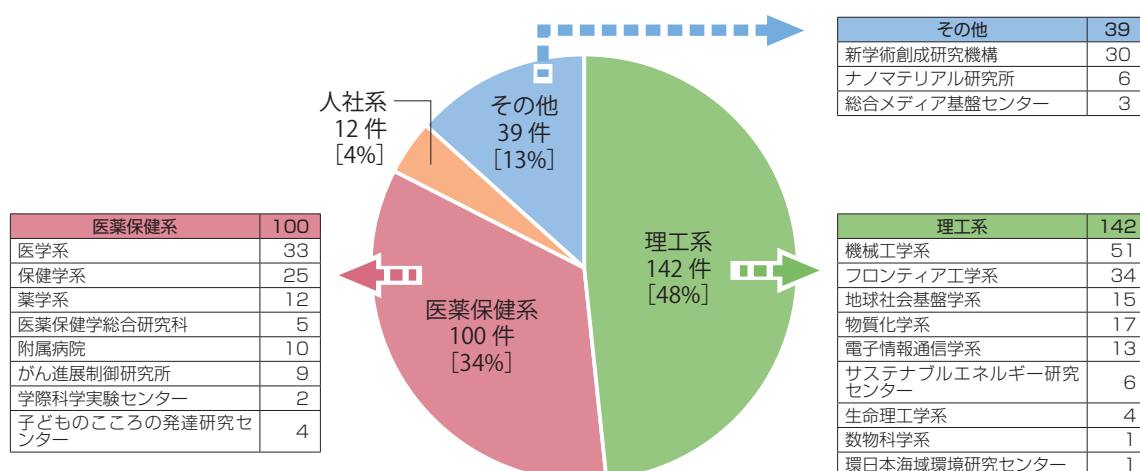
2. 共同研究について

本学での共同研究受入額は5年間でほぼ倍増しました。全件数の48%が理工系、34%が医薬保健系に関連しておりました。

共同研究件数・受入額（年度別）



平成30年度 共同研究 分野別実施状況 (293件)



共同研究実施件数及び研究費受入額における個別実績（平成29年度）

民間企業との共同研究実施件数

No.	機関名	件数	区分
1	東京大学	1,835	
2	大阪大学	1,250	
3	東北大学	1,037	
4	京都大学	1,034	
5	九州大学	695	
6	名古屋大学	637	
7	東京工業大学	610	
8	北海道大学	576	
9	慶應義塾大学	567	私
10	神戸大学	488	
11	筑波大学	427	
12	広島大学	397	
13	千葉大学	390	
14	信州大学	380	
15	早稲田大学	367	私
16	東京農工大学	361	
17	山形大学	349	
18	東京理科大学	288	私
19	岡山大学	285	
20	名古屋工業大学	283	
21	金沢大学	269	
22	大阪府立大学	266	公
23	岐阜大学	265	
24	三重大学	251	
25	徳島大学	246	
26	熊本大学	238	
27	横浜国立大学	235	
28	九州工業大学	228	
29	静岡大学	226	
30	群馬大学	222	

民間企業との共同研究に伴う研究費受入額

(単位：千円)

No.	機関名	受入額	区分
1	東京大学	7,250,889	
2	大阪大学	6,831,412	
3	京都大学	4,900,600	
4	東北大学	3,399,198	
5	名古屋大学	2,805,459	
6	慶應義塾大学	2,219,696	私
7	九州大学	2,104,657	
8	東京工業大学	1,942,971	
9	北海道大学	1,346,765	
10	神戸大学	1,164,206	
11	筑波大学	1,072,661	
12	山形大学	881,536	
13	早稲田大学	810,703	私
14	千葉大学	790,691	
15	広島大学	723,542	
16	東京農工大学	644,321	
17	名古屋工業大学	641,095	
18	東京医科歯科大学	597,785	
19	東京理科大学	563,532	私
20	信州大学	520,135	
21	熊本大学	512,490	
22	順天堂大学	477,972	私
23	徳島大学	446,841	
24	金沢大学	438,118	
25	横浜国立大学	402,284	
26	山口大学	389,318	
27	岡山大学	348,651	
28	九州工業大学	345,160	
29	静岡大学	342,029	
30	大阪市立大学	333,345	公

※文部科学省「平成29年度大学等における産学連携等実施状況について」（抜粋） ※上位30機関
 (注) 表中の区分において、無印は国立大学等、「公」は公立大学等、「私」は私立大学等を表す。

3. 平成30年度 共同研究一覧

下表は、平成30年度に契約された312件の産学官共同研究テーマの一部（153件）をご紹介します。共同研究を始める前の予備的検討として、「技術相談」を利用されることも効果的ですので、ご活用ください。また、本欄掲載以外の共同研究対応可能な教員につきましても、ご紹介させていただきますので、ご遠慮なくお問い合わせください。

312件（地方自治体等を含むと312件、企業のみだと293件）
（公開分153件）

（各部署・系の50音順）

研究題目	受入部局	職	氏名
誰もが使いやすいトイレのあり方に関する研究	人間社会研究域 人間科学系	准教授	岩本 健良
目に優しい視線入力端末の開発	人間社会研究域 人間科学系	教授	小島 治幸
車両用歯車のX線回折法による強度評価（その2）	人間社会研究域 人間科学系	教授	佐々木敏彦
X線を用いた残留応力計測システムの開発	人間社会研究域 人間科学系	教授	佐々木敏彦
クランク軸を対象とした二次元検出器によるX線応力測定条件の研究	人間社会研究域 人間科学系	教授	佐々木敏彦
2次元X線センサによる応力評価法の活用に関する研究	人間社会研究域 人間科学系	教授	佐々木敏彦
ばねにおける残留応力測定 $\cos \alpha$ 法の適用-1	人間社会研究域 人間科学系	教授	佐々木敏彦
車両用歯車のX線回折法に依る強度評価（その3）	人間社会研究域 人間科学系	教授	佐々木敏彦
鉄道レールの転がり接触疲労に対するX線評価	人間社会研究域 人間科学系	教授	佐々木敏彦
航空宇宙部品へのX線残留応力測定技術の応用に関する研究	人間社会研究域 人間科学系	教授	佐々木敏彦
実構造物の残留応力・疲労損傷度評価技術の高度化 その1	人間社会研究域 人間科学系	教授	佐々木敏彦
米醗酵技術を応用したスポーツ・健康用機能性飲料の開発	人間社会研究域 人間科学系	教授	増田 和実
観光・地場産業関連団体の課題抽出と圏域レベルにおける解決法の研究	人間社会研究域 人間科学系	助教	丸谷 耕太
羽咋市のまち・ひと・しごと創生総合戦略に関する研究	人間社会研究域 経済学経営学系	教授	佐無田 光
鋳造分野を対象とした気液二流体解析技術の研究	理工研究域 数物科学系	教授	小俣 正朗
HiZ-GUNDAMの衛星姿勢・熱的擾乱に関するシステム検討	理工研究域 数物科学系	教授	米徳 大輔
めっき液における界面活性剤の研究	理工研究域 物質化学系	教授	浅川 毅
フィルム型有機薄膜太陽電池の製造	理工研究域 物質化学系	教授	高橋 光信
重金属汚染土壌スラッジのキレート洗浄処理におけるメカニズムの解明	理工研究域 物質化学系	教授	長谷川 浩
セレン簡易分析システム開発の研究	理工研究域 物質化学系	教授	長谷川 浩
ファインバブル生成とその用途	理工研究域 物質化学系	教授	長谷川 浩
重金属等を含有する掘削すりの散水浄化工法の開発	理工研究域 物質化学系	教授	長谷川 浩
ヒ素汚染土壌の不溶化処理技術	理工研究域 物質化学系	教授	長谷川 浩
メタン発酵プロセスにおける放射性物質の挙動解析	理工研究域 物質化学系	教授	長谷川 浩
重金属汚染土壌スラッジに含まれる鉄系微粒分の有効利用	理工研究域 物質化学系	教授	長谷川 浩
海藻場における鉄の動態の評価手法に関する技術開発	理工研究域 物質化学系	教授	長谷川 浩
ポリオキシメタレート材料の開発	理工研究域 物質化学系	教授	林 宣仁
新規有機化合物の合成	理工研究域 物質化学系	准教授	古山 溪行
産業用ロボットを活用した大型製品に対する高精度位置決めドリル加工法の開発	理工研究域 機械工学系	教授	浅川 直紀

注 複数教員による共同研究の場合、教員氏名は研究代表者を記してあります。

研究題目	受入部局	職	氏名
翼型チューブ熱交換器の性能向上に関する検討	理工研究域 機械工学系	助教	大西 元
燃焼ガスの乱流域での伝熱特性の研究及び環状型フィンチューブの伝熱部の伝熱特性と温度変化の数値シミュレーションの研究	理工研究域 機械工学系	助教	大西 元
合成繊維紡糸設備内の空気流解析	理工研究域 機械工学系	教授	喜成 年泰
高速で走行する糸に対するガイド形状と糸品質の関係	理工研究域 機械工学系	教授	喜成 年泰
電気分解水素の効率的な除湿に関する研究	理工研究域 機械工学系	教授	児玉 昭雄
ガス機器排ガス中CO ₂ のTSA分離濃縮プロセスの性能向上に関わる研究	理工研究域 機械工学系	教授	児玉 昭雄
周期的吸着分離操作における吸着材の性能評価	理工研究域 機械工学系	教授	児玉 昭雄
水素／重水素吸着分離装置の開発	理工研究域 機械工学系	教授	児玉 昭雄
二酸化炭素用吸着材の開発と温度スイング吸着操作への適用	理工研究域 機械工学系	教授	児玉 昭雄
工作機械のスマートヘルスマニタリングシステムの開発	理工研究域 機械工学系	助教	高杉 敬吾
リアルタイム切削加工シミュレータの開発	理工研究域 機械工学系	助教	高杉 敬吾
二軸押出機の流動に関する研究	理工研究域 機械工学系	准教授	瀧 健太郎
プラスチックの成形技術に関する研究	理工研究域 機械工学系	准教授	瀧 健太郎
光硬化性樹脂の硬化メカニズムの解析と硬化条件の最適化	理工研究域 機械工学系	准教授	瀧 健太郎
光硬化プロセスにおける硬化反応過程解析に関する共同研究	理工研究域 機械工学系	准教授	瀧 健太郎
延伸フィルムの延伸挙動の調査	理工研究域 機械工学系	教授	田村 和弘
高硬度金型内部の留まり穴内面加工に関する研究	理工研究域 機械工学系	教授	古本 達明
サファイア単結晶のレーザ割断	理工研究域 機械工学系	教授	古本 達明
金属光造形複合加工法に関する研究	理工研究域 機械工学系	教授	古本 達明
積層造形技術に関する共同研究	理工研究域 機械工学系	教授	古本 達明
超高圧焼結体ラウンドツールによる難削材の切削加工に関する研究	理工研究域 機械工学系	教授	細川 晃
高強度焼結材加工時の刃先温度の計測研究	理工研究域 機械工学系	教授	細川 晃
伸線加工時の鋼線／ダイヤモンド界面温度の計測研究	理工研究域 機械工学系	教授	細川 晃
高効率カッティングエッジの研究	理工研究域 機械工学系	教授	細川 晃
ワイヤー用銅合金の強度及び導電性改善に関する研究	理工研究域 機械工学系	教授	門前 亮一
合成繊維の染色品質判定技術の研究	理工研究域 機械工学系	助教	若子 倫菜
トップドロス (Fe ₂ Al ₅ Zn _x) の形成機構、機械的性質、粗大化機構の調査	理工研究域 機械工学系	教授	渡邊 千尋
省エネルギー戦略に寄与する“ヘテロナノ”超高強度銅合金材の開発	理工研究域 機械工学系	教授	渡邊 千尋
助剤添加による粉体の表面改質に関する研究	理工研究域 フロンティア工学系	教授	大谷 吉生
多成分液滴の蒸発凝縮の分子動力学 (MD) シミュレーションに関する研究	理工研究域 フロンティア工学系	教授	大谷 吉生
配電工事の効率化に資する工法改善の研究 (ロボット開発)	理工研究域 フロンティア工学系	教授	関 啓明
急激な荷振れ事前検知警告発信装置の開発	理工研究域 フロンティア工学系	教授	関 啓明
帯電フィルタの性能向上に関する研究	理工研究域 フロンティア工学系	教授	瀬戸 章文
大流量・微粒子分粒機構の開発	理工研究域 フロンティア工学系	教授	瀬戸 章文
帯電ノミストの空間分布推定及び物性解析に関する研究	理工研究域 フロンティア工学系	教授	瀬戸 章文
機能性ナノミストの生成とその応用	理工研究域 フロンティア工学系	教授	瀬戸 章文
次世代車室空間の創出	理工研究域 フロンティア工学系	教授	瀬戸 章文
オイルミストの除去に関する研究	理工研究域 フロンティア工学系	教授	瀬戸 章文

注 複数教員による共同研究の場合、教員氏名は研究代表者を記してあります。

研究題目	受入部局	職	氏名
オゾンバスの安全性と有効性に関する研究	理工研究域 フロンティア工学系	准教授	滝口 昇
ロボットの知能化技術に関する共同研究	理工研究域 フロンティア工学系	准教授	辻 徳生
高解像度カメラを用いた劣化診断技術	理工研究域 フロンティア工学系	准教授	辻 徳生
発光ナノカーボンの合成に関する研究	理工研究域 フロンティア工学系	准教授	比江嶋祐介
亜臨界水によるグラフェン系複合材料に関する研究	理工研究域 フロンティア工学系	准教授	比江嶋祐介
バグフィルタろ布の劣化メカニズムに関する研究	理工研究域 フロンティア工学系	准教授	比江嶋祐介
レーザーカッターの普及に向けた初学者向け指導マニュアルの開発	理工研究域 電子情報通信学系	教授	秋田 純一
医用画像復元技術の研究	理工研究域 電子情報通信学系	准教授	今村 幸祐
Deep Learning 映像処理技術の研究	理工研究域 電子情報通信学系	准教授	今村 幸祐
プラズマ切断現象の見える化による切断性能向上	理工研究域 電子情報通信学系	教授	上杉 喜彦
放射線シールドのシミュレーション評価	理工研究域 電子情報通信学系	准教授	尾崎 光紀
熱プラズマ照射によるポリマー繊維の耐アーク性検証と耐アーク性繊維の探索試験	理工研究域 電子情報通信学系	教授	田中 康規
制御型変調誘導熱プラズマによるナノ粒子の大量生成法と下流冷却効果の検討	理工研究域 電子情報通信学系	教授	田中 康規
過渡アーク解析に対する非平衡ハイブリッドモデルの研究	理工研究域 電子情報通信学系	教授	田中 康規
磁界中の真空アークの挙動把握に関する研究～粒子法を導入した金属蒸気挙動の数値解析～	理工研究域 電子情報通信学系	教授	田中 康規
電磁波可視化システムに関する研究	理工研究域 電子情報通信学系	教授	八木谷 聡
交流磁気センサの開発	理工研究域 電子情報通信学系	教授	八木谷 聡
バイオマスメタン発酵施設性能評価研究	理工研究域 地球社会基盤学系	教授	池本 良子
ドローン等動画撮影による、車線規制時における交通動向解析と規制機器の検討	理工研究域 地球社会基盤学系	教授	高山 純一
総合計画市民意識調査の効果的活用と分析方法の検討	理工研究域 地球社会基盤学系	教授	高山 純一
庁内情報を基にした買い物弱者の見える化に関する研究	理工研究域 地球社会基盤学系	教授	高山 純一
複数衛星による観測輝度温度を活用した数値気象モデル中の雲・水蒸気情報改善のためのアンサンブルカルマンフィルタによるデータ同化手法の開発	理工研究域 地球社会基盤学系	准教授	谷口 健司
鋼桁端部での様々な腐食状態を評価するウェブ振動モードを用いた点検手法の検討	理工研究域 地球社会基盤学系	教授	深田 宰史
福井県道路橋梁の維持管理及びデータベースに関する研究	理工研究域 地球社会基盤学系	教授	深田 宰史
鳩山町国民健康保険における保健事業共同研究	理工研究域 地球社会基盤学系	准教授	藤生 慎
赤外線カメラ搭載ドローンとAIによる建物損傷の自動検出技術に関する研究	理工研究域 地球社会基盤学系	准教授	藤生 慎
ドローンとAIを用いたインフラのメンテナンス技術の開発と社会実装	理工研究域 地球社会基盤学系	准教授	藤生 慎
ドローン・赤外線カメラ・AIのハイブリッド利用による法面の劣化診断手法の開発	理工研究域 地球社会基盤学系	准教授	藤生 慎
メタンガスを含んだ地下水浄化技術の開発	理工研究域 地球社会基盤学系	助教	松浦 哲久
イオン液体中でのセルロース誘導体化の研究	理工研究域 生命理工学系	教授	高橋 憲司
鉄鋼副産物活用による海域環境修復機構の解明	理工研究域 サステナブルエネルギー研究センター	教授	三木 理
微細藻類を用いた製鉄所排水処理用高効率バイオリクター	理工研究域 サステナブルエネルギー研究センター	教授	三木 理
フライアッシュ高含有ポーラスコンクリートの藻場造成材としての評価及び藻場造成技術の研究	理工研究域 サステナブルエネルギー研究センター	教授	三木 理

注 複数教員による共同研究の場合、教員氏名は研究代表者を記してあります。

研究題目	受入部局	職	氏名
製鉄排水処理に適用可能な微細藻類培養技術の開発	理工研究域 サステナブルエネルギー研究センター	教授	三木 理
EGFR TKI剤アファチニブの耐性獲得機序の検討	医薬保健研究域 医学系	准教授	笠原 寿郎
低侵襲・動的呼吸機能検査技術の開発とその評価	医薬保健研究域 医学系	准教授	笠原 寿郎
閉塞性細気管支炎マウスモデルに対するNintendanibの有効性の検討	医薬保健研究域 医学系	准教授	笠原 寿郎
EGFR-TKI初回投与後の耐性メカニズムにおける第一世代EGFR-TKIと第二世代との違いを明らかにする研究	医薬保健研究域 医学系	准教授	笠原 寿郎
カルフィルゾミブを投与した多発性骨髄腫での8カラーフローサイトメトリー (EuroFlow法) による骨髄腫微小残存病変検出法の確立と既存検査法との臨床的意義の比較	医薬保健研究域 医学系	講師	高松 博幸
非アルコール性脂肪肝患者の肝生検組織、血液を用いた創薬標的分子のパリテーションおよびバイオマーカー探索	医薬保健研究域 医学系	教授	篁 俊成
非アルコール性脂肪肝を合併した2型糖尿病患者に対するSGLT-2阻害薬とSU薬の有効性に関する研究	医薬保健研究域 医学系	教授	篁 俊成
皮膚筋炎における新規自己抗体検出試薬の基礎性能評価に関する検討	医薬保健研究域 医学系	教授	竹原 和彦
再生医療の産業化に向けた細胞製造・加工システムの開発/ヒト多能性幹細胞由来の再生医療製品製造システムの開発 (網膜色素上皮・肝細胞)	医薬保健研究域 医学系	教授	藤永由佳子
ボツリヌスHA複合体の粘膜免疫誘導能の研究	医薬保健研究域 医学系	教授	藤永由佳子
キャプチャー法による遺伝子多型解析	医薬保健研究域 医学系	准教授	細道 一善
インターフェロンフリーの抗ウイルス療法 (オムビタスビル/パリタプレビル/リトナビル) がC型肝炎ウイルスに対する宿主免疫機能へ与える影響の検討 (The effects of IFN-free 2D regimen (ombitasvir/paritaprevir/ritonavir) on host immune responses against hepatitis C virus)	医薬保健研究域 医学系	准教授	水腰英四郎
In vivo実験系におけるRAGEシグナル阻害作用を持つ植物素材の探索	医薬保健研究域 医学系	教授	山本 靖彦
ラット腎スライスを用いた刷子縁膜側発現トランスポーターの機能評価	医薬保健研究域 薬学系	教授	玉井 郁巳
尿酸低下薬投与時におけるプリン体の体内動態	医薬保健研究域 薬学系	教授	玉井 郁巳
外部放射線治療における透過型線量検証システムIQMの臨床有用性の検討	医薬保健研究域 保健学系	教授	武村 哲治
フォトンカウンティングにおける一般撮影系での実効原子番号画像生成の研究	医薬保健研究域 保健学系	准教授	林 裕晃
医療現場における被ばく線量の低減に向けたOSL線量計による被ばく線量の直接測定における基礎検討	医薬保健研究域 保健学系	准教授	林 裕晃
医療用X線に対する放射線防護材の開発に向けた基礎研究	医薬保健研究域 保健学系	准教授	林 裕晃
口腔内組織を同定する口内法X線撮影装置の開発	医薬保健研究域 保健学系	准教授	林 裕晃
OSL線量計を用いた医療用放射線の線量評価技術の開発	医薬保健研究域 保健学系	准教授	林 裕晃
フォトンカウンティング検出器で取得された画像の検出器応答関数を考慮した物理解析アルゴリズムの開発	医薬保健研究域 保健学系	准教授	林 裕晃
軽量かつ安価なX線遮蔽体の開発を目指した金属粒子を混入した樹脂シートの開発	医薬保健研究域 保健学系	准教授	林 裕晃
MRIによる下腿筋間欠的空気圧迫法 (IPC) の評価	医薬保健研究域 保健学系	教授	宮地 利明
プロテインC及びプロテインSの新規測定法の有用性及び検体中の共存物質 (ループスアンチコアグラント、ワルファリン、ヘパリン、新規経口抗凝固薬等) が凝固検査に及ぼす影響に関する検討	医薬保健研究域 保健学系	教授	森下英理子
静脈血栓症の危険因子であるプロテインSK196E変異を持つ血漿タンパク質の検出法に関する研究	医薬保健研究域 保健学系	教授	森下英理子
先天性アンチトロンピン欠乏症のヘパリン結合能の測定法の検討	医薬保健研究域 保健学系	教授	森下英理子

注 複数教員による共同研究の場合、教員氏名は研究代表者を記してあります。

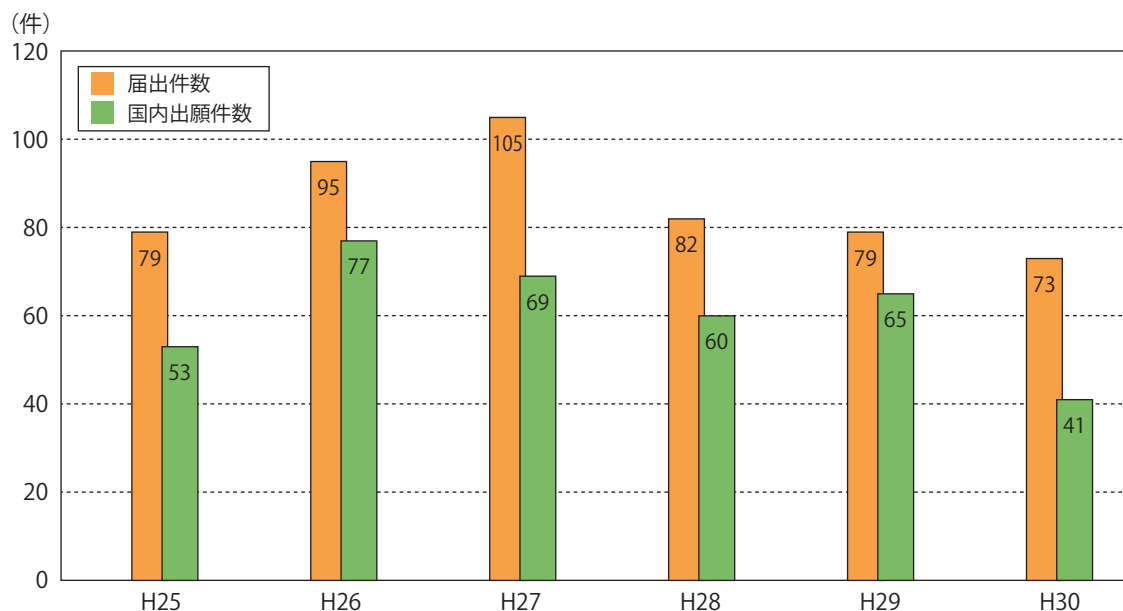
研究題目	受入部局	職	氏名
プロテインS活性測定に影響する要因の検討	医薬保健研究域 保健学系	教授	森下英理子
人工ニューラルネットワーク解析による心臓核医学画像読影支援に関する研究	大学院先進予防医学研究科	特任教授	中嶋 憲一
MIBG標準化手法を利用した日本人データベースの特徴解析	大学院先進予防医学研究科	特任教授	中嶋 憲一
認証技術を活用した医薬品トレーサビリティの研究	附属病院	教授	崔 吉道
LCMS用TDM試薬キット（免疫抑制剤）の評価	附属病院	教授	崔 吉道
医療に係る統計情報プラットフォームの共同研究	附属病院	教授	長瀬 啓介
医用電気機器の広帯域電磁干渉調査	附属病院	教授	長瀬 啓介
マウス大腸癌モデルに関する研究	がん進展制御研究所	教授	大島 正伸
抗癌剤を用いたAPC、Kras、Tgfr2変異大腸癌細胞の転移・増殖機序の検討	がん進展制御研究所	教授	大島 正伸
消化器がんにおけるPGE2／EP4シグナルの研究	がん進展制御研究所	教授	大島 正伸
核酸関連成分による遺伝子変異ならびに腫瘍の増殖に対する作用に関する研究	がん進展制御研究所	教授	松本 邦夫
HGF蛋白質を用いた難治性疾患治療法の開発	がん進展制御研究所	教授	松本 邦夫
非小細胞肺癌に対するEGFR TKI治療におけるBIM多型とHDAC阻害剤の併用効果に関する研究	がん進展制御研究所	教授	矢野 聖二
各種ヒト癌細胞株の脳転移マウスモデルにおけるレンパチニブの薬効評価	がん進展制御研究所	教授	矢野 聖二
チロシンキナーゼ阻害剤・ヒストン脱アセチル化酵素阻害剤併用療法のためのコンパニオン診断薬の開発	がん進展制御研究所	教授	矢野 聖二
遺伝子改変動物（遺伝子改変ノックインマウス）の作製検討	学際科学実験センター	教授	大黒多希子
植物活力液の作用機構の解析	学際科学実験センター	准教授	西内 巧
牛受精卵移植における低受胎の原因究明	学際科学実験センター	准教授	堀家 慎一
大学発eラーニング教材の開発研究	総合メディア基盤センター	教授	佐藤 正英
オキシトシン類縁物の中樞神経への薬理効果	子どものこころの発達研究センター	特任教授	東田 陽博
抗オキシトシン抗体の評価	子どものこころの発達研究センター	教授	横山 茂
セルロースの高機能化	新学術創成研究機構 ナノ生命科学研究所	教授	前田 勝浩
Streptomyces属放線菌に関する研究	新学術創成研究機構	助教	柘植 陽太
有機半導体素子の研究	ナノマテリアル研究所	准教授	辛川 誠
有機薄膜太陽電池の効率向上	ナノマテリアル研究所	准教授	辛川 誠
その他（非公開分）			159件

注 複数教員による共同研究の場合、教員氏名は研究代表者を記してあります。

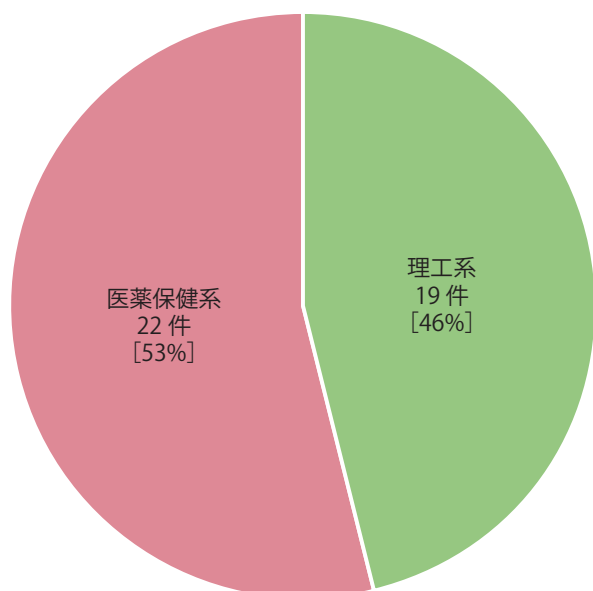
4. 特許出願について

2019年度は、大学からの出願41件以外に、出願前に共同研究先に有償譲渡した共同研究関連発明が10件ありました。

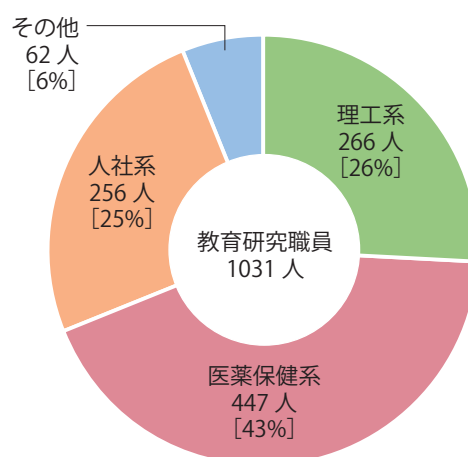
■ 発明届出・特許出願件数（年度別）



■ 平成30年度 特許出願 分野別内訳（41件）



■ 教育研究職員 分野別割合



(平成30年5月1日現在)

5. 平成30年度 公開特許出願一覧

下表は、平成30年度（2018年4月1日～2019年3月31日）に公開された特許出願で、共同出願も含まれます。出願内容は特許庁のJ-PlatPat（特許情報プラットフォーム）から見る事が出来ます。

発明の名称	出願番号
走査型プローブ顕微鏡及びその制御方法	特開2018-054385
交通信号認識方法および交通信号認識装置	特開2018-063680
操縦者状態推定装置	特開2018-063489
物体追跡装置	特開2018-066716
抗癌作用増強剤及び癌治療支援方法	特開2018-070563
酸化剤	特開2018-070482
系列生成装置、符号化処理装置、送信装置	特開2018-072867
細胞癌株、およびそれを用いた原発性肝癌の発症動物モデル	特開2018-075000
セルロース誘導体、及びこれを含む金属除去材、並びにこれを用いた金属除去方法	特開2018-083882
チャンバーアレイの製造方法	特開2018-085975
走査型プローブ顕微鏡	特開2018-091695
昇温ホルダおよびプローブ顕微鏡	特開2018-091666
ソラフェニブ応答性予測のための方法	特開2018-096719
血中タンパク質を測定することにより、ネフローゼ症候群の疾患活動性を判定する方法	特開2018-096710
トランス型ポリイソプレノイドの製造方法、ベクター、形質転換植物、空気入りタイヤの製造方法及びゴム製品の製造方法	特開2018-099100
結晶性高分子の劣化測定方法	特開2018-100943
電磁界センサ、電磁界計測システムおよび電磁波の到来方向推定システム	特開2018-100904
対象物保持方法	特開2018-103359
コンクリート構造物の補強方法、コンクリート構造物及び可撓性連続繊維補強材	特開2018-109268
神経因性疼痛の治療、予防又は緩和用組成物	特開2018-111680
回折環計測装置	特開2018-116063
摩擦摩耗試験機	特開2018-119803
有機塩、動的共有結合を有する化合物、イオン液体、並びに、可変抵抗器及び抵抗値の制御方法、バイオエタノール製造装置及びバイオエタノールの製造方法	特開2018-127421
ダイヤモンド製膜用下地基板及びそれを用いたダイヤモンド基板の製造方法	特開2018-127367
非アルコール性脂肪性肝炎検出方法、該肝炎の重篤度判定方法及び該肝炎の治療評価判定方法	特開2018-132471
血管内異物摘出用鉗子	特開2018-134350
金属錯体及びそれを有効成分とする抗がん剤	特開2018-135297
プローブ走査機構、プローブ装置および走査型プローブ顕微鏡	特再公表W017/090582
肝組織修復剤	特開2018-145096
間葉系KRAS変異型がん治療剤	特再公表W017/086332
乳児の社会脳発達促進用栄養組成物	特開2018-150284
調湿システムおよびその制御方法	特開2018-155454
MFS型の電界効果トランジスタ	特開2018-157076
血中ケモカインをマーカーとして用いた大腸癌の検出	特開2018-155506
変形性関節症の治療、予防又は緩和用組成物	特開2018-172287
キラルアミンセンサー	特開2018-177907
パラレルリンクロボットの動作制御方法	特開2018-187728
パラレルリンクロボット	特開2018-187727
リン酸化Smurf2を認識する抗体、該抗体を含む癌の診断剤、並びに該抗体を使用した癌の治療剤のスクリーニング方法	特開2018-188394
ポリオレフィン系樹脂組成物及びポリオレフィン系樹脂フィルム	特再公表W017/141886
双性イオン、並びに双性イオンを含む培地用添加剤及び難溶性物質溶解剤	特開2018-191623

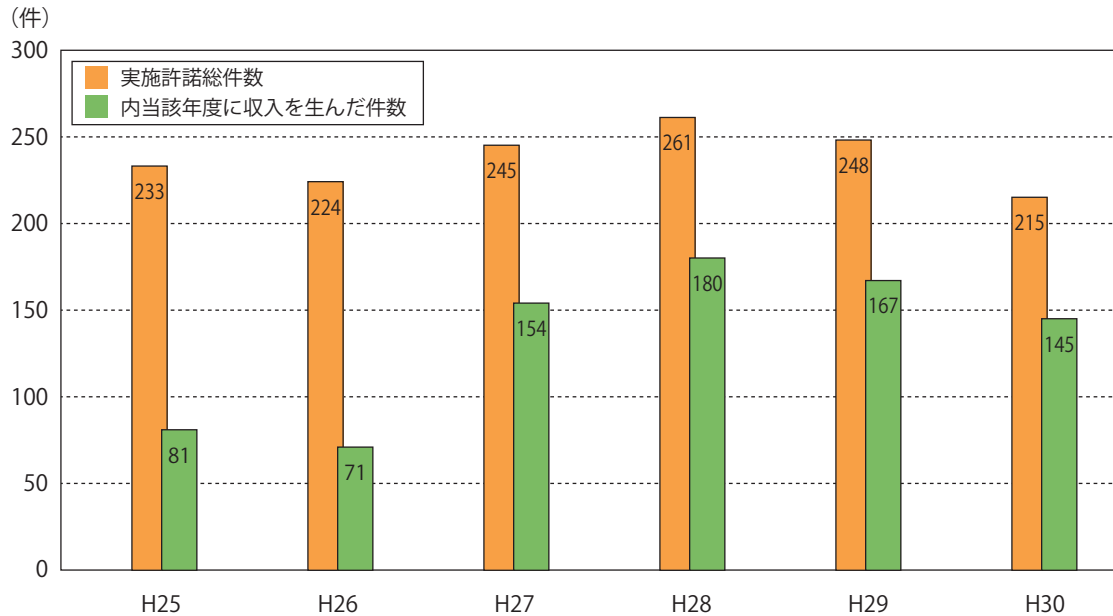
発明の名称	出願番号
セレンの分析方法及びそれに用いる前処理キット並びに前処理方法	特開2018-194342
プラズマ処理装置およびプラズマ処理方法	特開2018-192381
筋肉改質剤	特開2018-199642
プラズマ処理装置	特開2018-200929
がん細胞浸潤能測定方法及び測定キット	特開2018-201494
ナノリンクルシート材の製造方法	特開2018-203816
入眠後体動量を指標とする自閉スペクトラム症の検査方法	特開2019-000336
地図データ構造、送信装置、及び、運転支援装置	特開2019-008350
地図データ構造、送信装置、及び、運転支援装置	特開2019-008348
足裏観察装置および足裏観察方法	特開2019-010394
洞内細胞培養法及びそれに用いるキット	特開2019-013192
繊維複合体の製造方法、繊維複合体含有高分子材料及び繊維複合体	特開2019-014129
健康状態推定システム、健康状態推定装置、健康状態推定方法、およびプログラム	特再公表W017/170831
腫瘍治療組成物	特開2019-026611
膠原病判定方法	特開2019-032257
B型肝炎ウイルス（HBV）増殖阻害剤のスクリーニング方法	特開2019-030242
ウェアラブルデバイス対応眼電位データ処理装置、それを備えた眼鏡型ウェアラブルデバイス、及びウェアラブルデバイス対応眼電位データ処理方法	特開2019-034144
視線移動関連値取得装置、それを備えた輸送機器及び視線移動関連値取得方法	特開2019-034723
回折環計測装置	特開2019-039681
汚染土壌の処理方法	特開2019-042730
フラレーン誘導体組成物	特開2019-043895
オリゴペプチド誘導体およびそれをを用いた医薬	特開2019-043892
代替抗癌剤の治療効果予測剤	特開2019-043882
比色検出型キラルセンサーを用いる光学活性キラルアミン化合物のキラリティー及び光学純度の決定方法	特開2019-045267
ポリマー、発光材料	特開2019-043972
骨形成促進剤	特開2019-048803
プレスシステムおよびその制御方法	特開2019-049890
表面計測方法、イオン伝導顕微鏡およびプローブ	特開2019-049420

(69件)

6. 特許実施許諾について

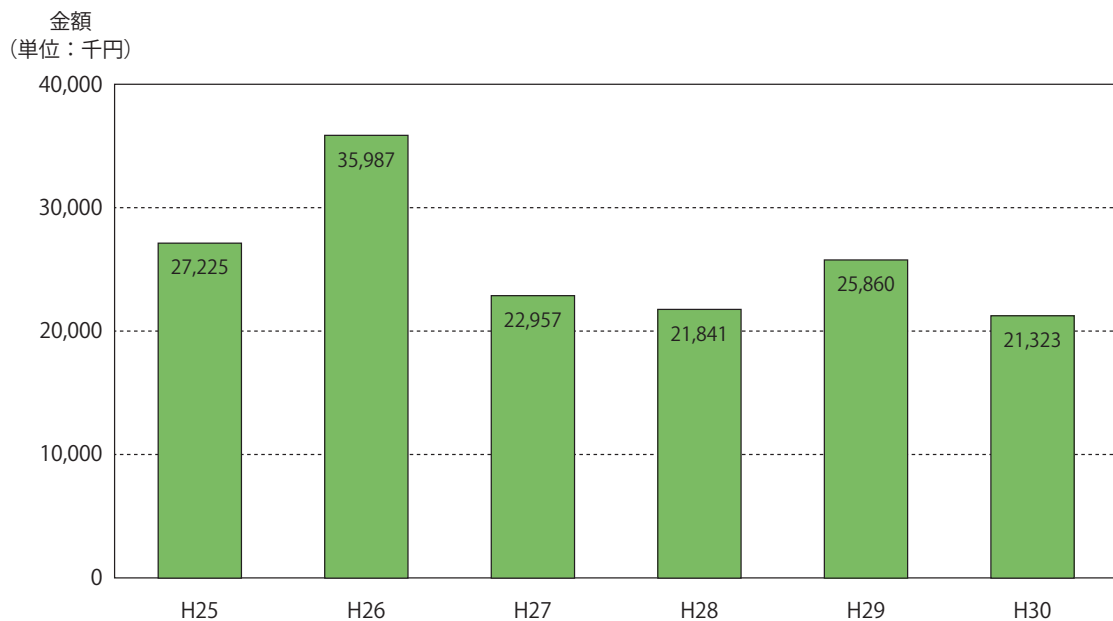
学外の技術移転機関である有限会社金沢大学ティ・エル・オー（KUTLO）と連携しながら、技術移転活動を推進しています。

■ 特許権実施等件数（外国分含む）（年度別）



※実施総件数とは、各年度で有効な実施許諾又はその年度に譲渡した特許権（「受ける権利」の段階のものも含む）の件数を指す。（契約に含まれる国内、外国特許の総数）

■ 特許権実施等収入額（外国分含む）（年度別）



■ 特許権実施等件数及び収入における個別実績（平成29年度）

■ 特許権実施等件数（外国分を含む）

No.	機関名	件数	区分
1	東京大学	3,523	
2	京都大学	1,356	
3	関東学院大学	1,127	私
4	大阪大学	806	
5	東京工業大学	721	
6	北海道大学	642	
7	東北大学	566	
8	名古屋大学	535	
9	九州大学	524	
10	信州大学	350	
11	広島大学	316	
12	筑波大学	305	
13	早稲田大学	255	私
14	日本大学	198	私
15	岡山大学	180	
16	金沢大学	167	
17	九州工業大学	159	
18	東京医科歯科大学	146	
19	東京理科大学	135	私
20	静岡大学	127	
21	豊橋技術科学大学	127	
22	神戸大学	127	
23	久留米大学	121	私
24	富山大学	120	
25	熊本大学	120	
25	東京農工大学	115	
27	慶應義塾大学	107	私
28	同志社大学	100	
29	香川大学	91	
30	群馬大学	86	

※特許権実施等件数とは、実施許諾又は譲渡した特許権（「受ける権利」の段階のものも含む）の数を指す。
（契約に含まれる国内、国外特許の総数）

■ 特許権実施等収入（外国分を含む）

（単位：千円）

No.	機関名	収入額	区分
1	東京大学	805,006	
2	京都大学	640,281	
3	東京工業大学	275,548	
4	東北大学	124,825	
5	九州大学	104,249	
6	日本大学	98,505	私
7	大阪大学	94,278	
8	名古屋大学	72,228	
9	鳥取大学	62,580	
10	慶應義塾大学	52,300	私
11	信州大学	41,051	
12	北海道大学	39,306	
13	神戸大学	33,907	
14	徳島大学	31,310	
15	富山大学	29,975	
16	山口大学	25,909	
17	金沢大学	25,860	
18	岡山大学	24,678	
19	北里大学	23,922	
20	広島大学	23,563	
21	埼玉医科大学	21,830	私
22	愛媛大学	20,306	
23	熊本大学	20,229	
24	関東学院大学	20,194	私
25	筑波大学	17,280	
26	高知大学	17,028	
27	東京理科大学	15,307	私
28	和歌山大学	15,276	
29	早稲田大学	14,163	私
30	香川大学	13,263	

※特許権実施等収入額とは、実施許諾又は譲渡した特許権（「受ける権利」の段階のものも含む）の収入額を指す。

※文部科学省「平成29年度大学等における産学連携等実施状況について」（抜粋） ※上位30機関
（注）表中の区分において、無印は国立大学等、「公」は公立大学等、「私」は私立大学等を表す。

7. 共創型研究支援プロジェクトについて

1. 概要

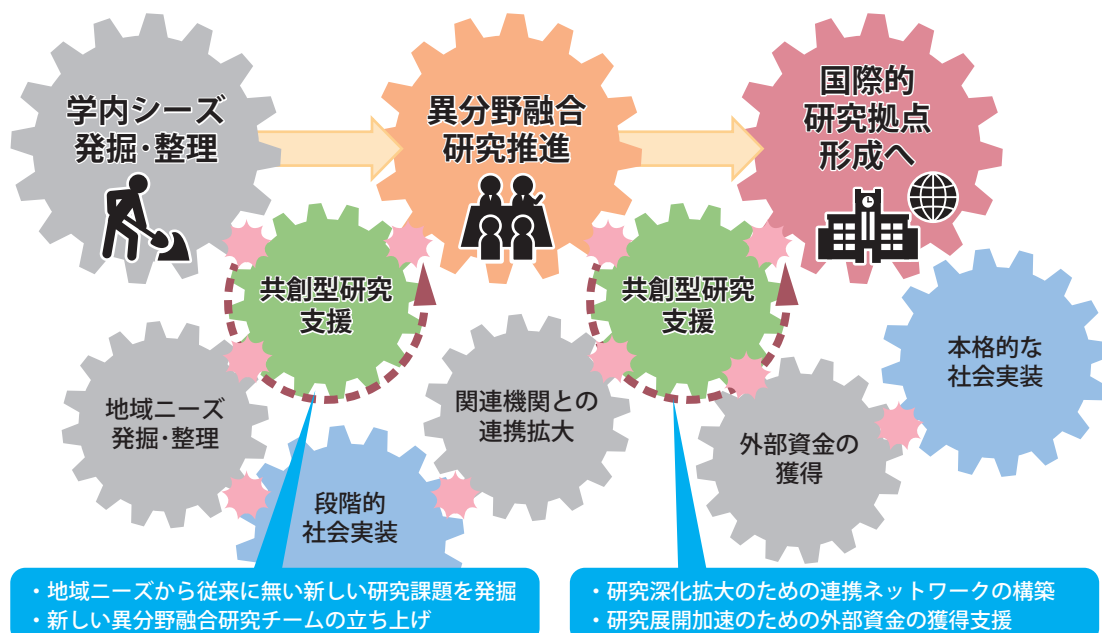
金沢大学は、2013年度から2017年度の文部科学省の「地(知)の拠点整備事業 (COC事業)」に取り組みました。総合大学として、人間社会、理工、医薬保健の3研究域を横断した異分野融合体制で、地域特性に合わせた持続可能なエネルギーの創成、風土や住民特性に即した予防医療や健康増進、老朽化した社会インフラの整理統合・多機能化、都市と農村の関係再構築、地域の産業・雇用を支える地域内経済循環の促進など、地域の持続的発展を目指した研究活動を進めてきました。

COC事業は2017年度末で終了しましたが、社会環境の急激な変化に伴う今後の社会課題解決に向けては、本活動で得られた地域との人的ネットワークや異分野融合研究体制の維持・発展が、ますます必要となってきています。そこで、2018年度から本学先端科学・社会共創推進機構(旧先端科学・イノベーション推進機構)内に、異分野融合研究推進を通じて研究拠点形成を目指す「共創型研究支援プロジェクト」を創設しました。

本プロジェクトでは、これまで進めてきた様々な地域志向研究活動を基礎に、多様な諸課題の関係性をふまえて、地域のステークホルダーとの対話・協働の場を創出し、地域の総合的な課題解決に向けた異分野融合研究の推進と科学的根拠に基づいた社会実装への展開を目指します。

共創型研究支援プロジェクト 概念図

- ・ 本学が立地し、根を張ってきた**地域の資源・ニーズを発掘・整理して研究テーマに昇華**
- ・ **研究者自身の「興味・やる気」を掘り起こし**、組み合わせて異分野融合研究チームを組成
- ・ **ボトムアップ型**の異分野融合研究の推進と、その成果の段階的な社会実装を通じて研究拠点化



2. 支援対象のプロジェクトの一例

■地域包括ケアとエリアマネジメント（2018年度～）

地域包括ケアとエリアマネジメント研究会(ケアエリア研)は、2015年9月に地域の健康づくりを、地域看護や公衆衛生、都市計画、統計、地域経済など、様々な分野から考える学内勉強会の場として、学内有志によって立ち上げられました。

これまで、地域特性にあった、きめ細かい地域包括ケアシステムとエリアマネジメントによる健康社会づくりと自治体の保有する健康関連データのまちづくりへの活用・応用をめざし、地域の実情にあった具体的な福祉政策・まちづくり改革を立案する手順の確立に、5つの自治体や健康保険組合などと連携して取り組んでいます。主な取り組み内容は以下の通りです。

- 1) 国民健康保険データや後期高齢者データに基づき、高齢者福祉の地域実態を地区単位で解析し見える化、そのデータを担当自治体と共有。
- 2) 各自治体における高齢者・健康データをまちづくりや、医療・介護サービスとコミュニティ・交通・防災諸機能のデザインへ活用。
- 3) 地域における医療・介護経済の多面的な側面を総合的に捉える指標提案やデータの分析。



新規支援プロジェクトの募集

■目的

共創型研究支援プロジェクトは、課題解決のため、研究域を横断するボトムアップ型異分野融合研究を推進し、自治体、企業、他大学、学外研究機関等との連携により研究成果の社会実装の展開を推進することを目的としています。

■対象

- ・異分野融合型地域課題解決のために本学との共同研究をご希望される自治体等学外機関
- ・研究域を横断する異分野融合研究の課題をお考えの研究者

■支援の概要

本プロジェクトの支援内容は以下の通りです。

- ・自治体等学外機関と異分野にまたがる学内外研究者との連携に向けたマッチング支援
- ・研究成果のフィードバックや、社会実装に関する相談と調整
- ・データ提供・取り扱いや調査実施等に関する調整や契約行為に関する支援
- ・異分野融合研究のための外部資金獲得に向けた取組や事務局機能の支援

※なお、支援内容に予算措置等資金的な支援は含まれていません。

■支援対象活動の募集・選定

学内外の皆様からの相談は随時受け付けています。お気軽にご相談ください。

支援対象とするかは、先端科学・社会共創推進機構内に設置された共創型研究支援プロジェクト委員会（以下、委員会）で検討します。

委員会にて選定されれば、共創型研究として、活動内容に関する情報を共有し、支援に向けた方向性を検討します。

■支援対象プロジェクトの報告等

支援対象プロジェクトに関しては、委員会や報告会等で、進捗・成果等について報告をお願いする場合があります。

相談窓口：共創型研究支援プロジェクト事務局（平子）

（金沢大学先端科学・社会共創推進機構内） TEL：076-264-6185

MAIL：kyosop@ml.kanazawa-u.ac.jp URL：http://kyosop.w3.kanazawa-u.ac.jp

8. ご案内

金沢大学は「地域と世界に開かれた教育重視の研究大学」として、地域産業界との連携を通して、イノベーションに貢献します。企業様の抱える技術的課題に関するご相談（技術相談）や共同研究に関するご相談を随時受け付けております。

技術相談について

技術的課題をお持ちの企業様からのご相談を、随時受け付けております。コーディネータがお話を伺い、学内の最適な研究者をご紹介します。

技術相談の流れ

原則として無料の事前相談を1回実施の上で、1～2時間程度の技術相談を1～2回実施します。

事前相談（無料）

コーディネータが企業様の抱えている課題について伺います。その内容に応じて、学内で最適な研究者を探し、研究者を交えた技術相談を設定します。

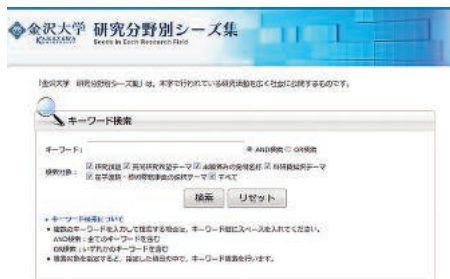
技術相談（相談実費をご負担いただく場合があります）

研究者とコーディネータが参加して、企業様の技術的課題を整理し、技術課題に対する対応策について議論・アドバイスいたします。必要に応じて、複数回の会合を設定いたします。

金沢大学の研究シーズと特許技術の活用について

研究シーズデータベース

金沢大学の人文系・理工系・医薬系の全領域の研究シーズをフリーワードで検索できるデータベースを強化しました。是非ご利用ください。



<http://ridb.kanazawa-u.ac.jp/seeds/>

金沢大学 シーズ データベース

検索

特許技術の活用のご相談（KUTLO）

金沢大学で創出された特許の活用について、金沢大学ティ・エル・オー（KUTLO）がお手伝いします。上記技術相談と合わせて、お気軽にご相談ください。



（例：金沢大学特許で開発された空間磁界可視化システム）

KUTLO 金沢大学TLO <http://kutlo.co.jp/>
info@kutlo.co.jp

協力会会員企業様向け支援について

金沢大学では、「金沢大学先端科学・イノベーション推進機構協力会」（P.21）の会員企業様向けに、技術相談に対する支援を行っております。これは、技術相談に係る相談実費の一部（年間3万円限度）を協力会が負担するもので、会員企業様には大変有利な制度です。

■協力会に関するお問い合わせ先
金沢大学先端科学・イノベーション推進機構協力会
〒920-1192 金沢市角間町
Tel：076-264-6109 Fax：076-234-4019
E-Mail：kyouryokukai@adm.kanazawa-u.ac.jp

■技術相談・共同研究・その他、お問い合わせ先

金沢大学先端科学・社会共創推進機構

〒920-1192 金沢市角間町

Tel：076-264-6111 Fax：076-234-4019

E-Mail：o-fsi@adm.kanazawa-u.ac.jp <http://o-fsi.w3.kanazawa-u.ac.jp/>

包括連携協定について

金沢大学では、個別の研究課題に限った企業との交流だけではなく、「組織 対 組織」で幅広く交流して、ともに課題解決を図る産学連携包括連携協定による企業との交流も進めています。

産学連携包括連携協定締結先一覧

企業名	協定締結日
株式会社小松製作所	平成17年11月9日
澁谷工業株式会社	平成20年5月12日
北陸電力株式会社	平成24年2月10日
株式会社PFU	平成27年2月18日
トヨタ紡織株式会社	平成30年3月1日
株式会社ダイセル	平成30年7月30日
中日本高速道路株式会社金沢支社	平成31年2月28日



中日本高速道路金沢支社との協定締結式

※別途、金融機関との協定あり

産学連携包括連携の取り組みとメリット

【主な取り組み内容例】

- ①技術相談等を通じた研究開発上の意見交換・指導助言。
- ②共同研究や受託研究による研究開発。
- ③技術教育とそれにかかる講師派遣等の人的な交流。
- ④インターンシップの受け入れ、企業情報の提供等学生に関する支援・協力。
年2回程度、相互の役員や部局長も参加する連携推進会議を開催。

【包括連携のメリット】

- ①個々の研究室レベルではなく、役員・部局長をトップに据えた“組織－組織”の関係構築。
- ②URA（リサーチアドミニストレーター）や本部事務局によるニーズ・シーズマッチング支援。
- ③総合大学としての強みの活用。

産学連携包括連携の特色ある成果事例

北陸電力：「補助型ロボット（アシストアーム）の研究」の実用化。



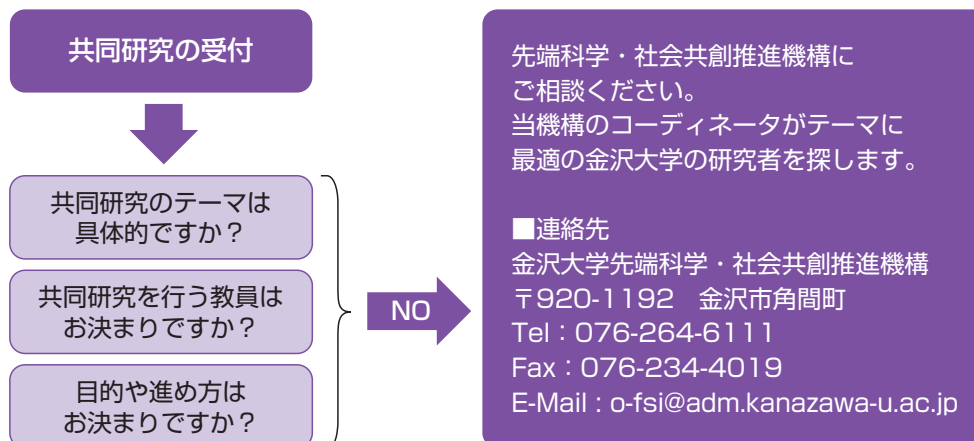
電力会社の配電工事現場（高所作業車）での補助員の省力化と効率化の課題に以下のように取り組みました。

- ①URAを介して、企業ニーズを聞き取り、ロボット工学の研究シーズとマッチング。
- ②企業の現場と機械工学系の研究室とで共同研究に着手。
- ③特許の共同出願を通して、試作機を作成。実用化へ。

共同研究について

企業様等の研究者と本学の教員とが共通の研究課題について、対等の立場で共同して研究を行う制度です。

共同研究を行う上で、テーマ・担当教員・進め方等が具体的にお決まりでない場合は、先端科学・社会共創推進機構にご相談ください。コーディネータが、最適な研究者を探します。



1. 共同研究の形態

企業様等から研究者と研究経費を受け入れて、基本的に本学において研究を行うタイプの『派遣型』、本学の教員と企業様等の研究者が、共通の研究課題について研究を分担し、それぞれの施設において研究を進めるタイプの『分担型』があります。

2. 共同研究に必要な経費

研究料（企業様等の研究者の受け入れに必要な経費）、直接経費、間接経費をご負担いただきます。
文部科学省および経済産業省が策定した「産学官連携による共同研究強化のためのガイドライン」（2016年11月）に対応すべく、2019年度より、下記のとおり人件費、間接経費の基準を改訂いたしました。

- ①共同研究担当教員等人件費のアワーレートによる積算方法の導入。
- ②管理運営費（間接経費）を直接経費の20%に改定。
- ③包括連携など組織対応型の共同研究には戦略的産学連携経費の加算。

3. 知的財産権の取り扱い

通常の場合、企業様等と本学の発明完成への貢献度を踏まえた持分による共有となります。
共有の知的財産権について、共有者である企業様等は、本学に、当該知的財産権の出願時に優先的に譲渡又は実施権（独占的実施権、非独占実施権）の許諾を求めることができます。

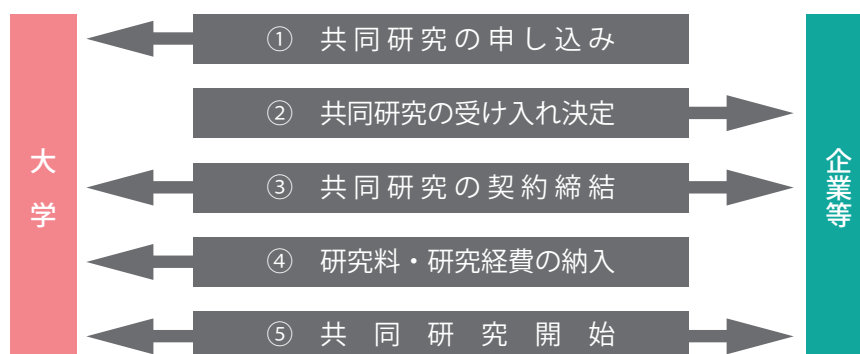
4. 本学への申込時期

随時可能です。

5. 研究期間

複数年にわたって契約することも可能です。

6. 共同研究の申し込み手順



①共同研究の申し込み

研究の実実施計画について担当教員と打合せの上、担当教員の所属する部局の事務部担当係へ「共同研究申込書」をご提出ください。

共同研究の「申込書」は、下記のURLどちらからでも、ダウンロードが可能です。

②受け入れの決定

担当教員の所属する部局の審査委員会で審議し、受け入れを決定します。

③共同研究の契約締結

受け入れ決定後、本学の共同研究契約書雛形を基に内容を協議し、契約を締結します。

④研究経費等の納入

契約締結後、本学からお送りする振込依頼書により納入願います。

⑤共同研究の開始

研究者の派遣または分担に基づく共同研究を開始します。

7. お問い合わせ先

■共同研究のテーマ、教員、内容に関するご相談先

金沢大学 先端科学・社会共創推進機構

〒920-1192 石川県金沢市角間町

TEL：076-264-6111 FAX：076-234-4019

E-Mail：o-fsi@adm.kanazawa-u.ac.jp

URL：http://o-fsi.w3.kanazawa-u.ac.jp/

■共同研究の手続き・申し込みに関するお問い合わせ先

金沢大学 研究・社会共創推進部 産学連携推進課 産学官連携・社会実装係

〒920-1192 石川県金沢市角間町

TEL：076-264-5298 FAX：076-234-4012

E-Mail：sangaku@adm.kanazawa-u.ac.jp

URL：https://research-promotion.adm.kanazawa-u.ac.jp/co_research/kyoudou/kyoudou.html

ご参考：税の取扱い

共同研究を実施した場合の税制上の優遇措置として「試験研究費の総額に係る税額控除制度」等の研究開発税制が設けられています。詳しくは税務署等へご確認ください。

金沢大学先端科学・イノベーション推進機構協力会のご案内

金沢大学先端科学・イノベーション推進機構協力会は、金沢大学先端科学・社会共創推進機構の事業を支援し、金沢大学と産業界が地に足のついた産学連携と相互の日常的な交流を進めることを目指し設立された団体です。本会は、地域の産業や地域社会が抱える課題の解決に大学との協働により、積極的に取り組む企業様(特別会員)と金沢大学が行う各種活動を支援し、産学連携と相互の日常的な交流を進めることを目指す企業様、業界団体等(一般会員)で構成されております。

1. 協力会概要

【会員】 本会の事業に賛同する企業様、業界団体様等(約100機関、うち特別会員は19社)

【会費】 年1口3万円(特別会員は10口以上)

【設立】 平成13年7月

2. 活動

① 全会員対象の活動

- ・ 総会、イノベーションシンポジウムと懇親会の開催(各年1回)
- ・ 研究室見学会の開催(年3回程度実施)
- ・ 技術相談の実費の支援(年3万円まで)
- ・ 本学が出展する展示会、主催する新技術説明会等のイベント情報の発信
- ・ 刊行物の発送(シーズ集、産学官・知財関連レポート等)

② 特別会員対象の活動

- ・ 最新の研究・技術に関するセミナー、工場見学、懇親会の開催
- ・ 金沢大学の若手研究者奨励賞の授与

3. 入会のメリット

- ① セミナー、イベントでの金沢大学の教員との交流や、送付する刊行物を通じて、大学での研究活動の状況等をご理解いただけます。共同研究、技術相談をご検討時の参考になります。
- ② 専門知識を必要とするご相談には、技術相談が有効です。最適な教員をご紹介します、対応させていただきます。会員企業様には、技術相談の実費の一部を、協力会よりサポートさせていただきます。
- ③ 協力会Webサイトでは、大学から企業様へのご案内(技術研究情報・イベント・セミナー等)だけでなく、企業様自身のイベント案内にもご利用いただけます。
※営利目的でのご利用はご遠慮ください。
- ④ 協力会Webサイトから会員企業様HPをリンク掲載し、ご紹介いたします。簡単な企業PRも一文掲載可能ですので、お気軽にご相談ください。

■協力会に関するお問い合わせ先

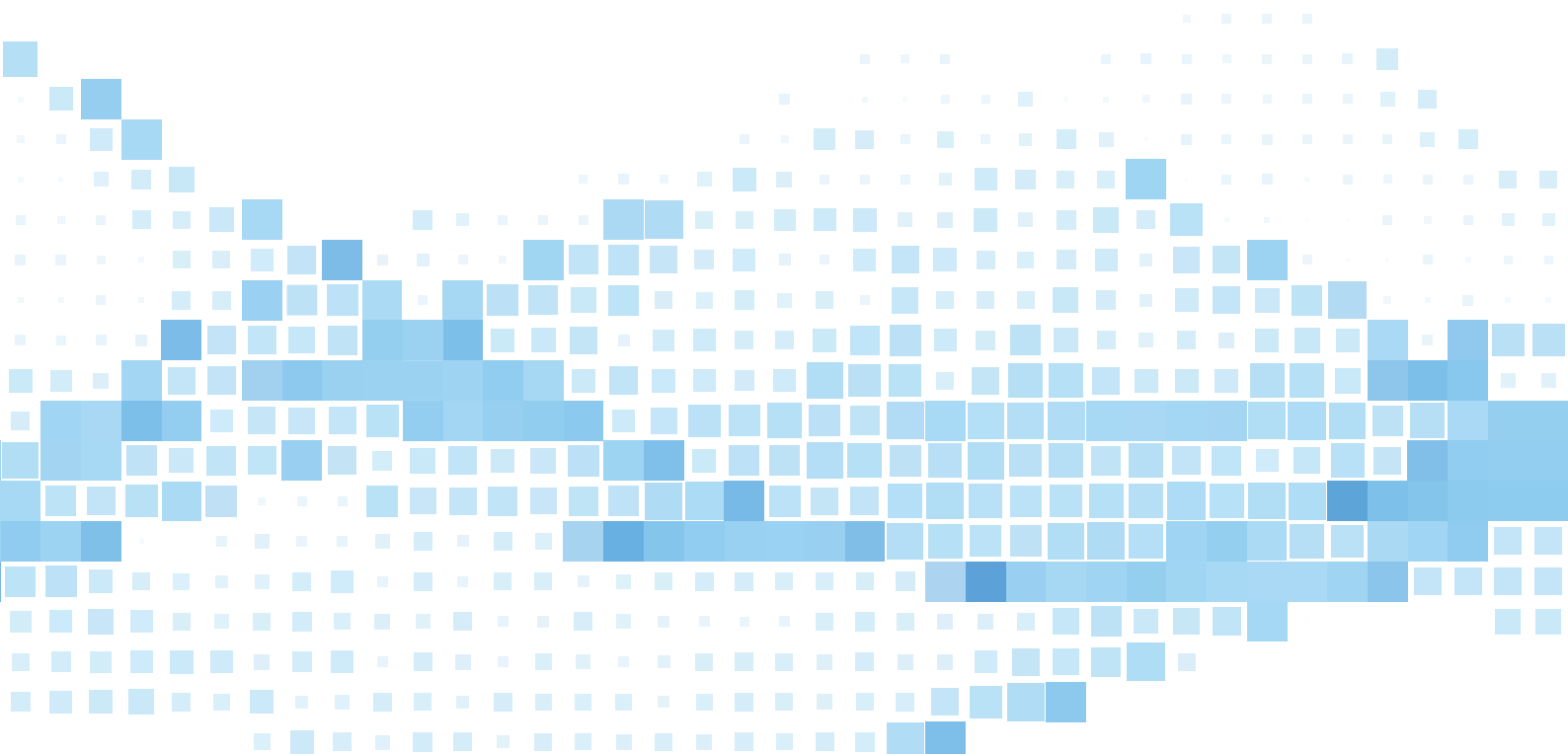
金沢大学先端科学・イノベーション推進機構協力会

〒920-1192 石川県金沢市角間町

Tel: 076-264-6109 Fax: 076-234-4019

E-Mail: kyouryokukai@adm.kanazawa-u.ac.jp

URL: <http://www.innov-kyouryokukai.com/>



(連絡先)

金沢大学 先端科学・社会共創推進機構

〒920-1192 金沢市角間町

T E L : 076-264-6111

F A X : 076-234-4019

E-Mail : o-fsi@adm.kanazawa-u.ac.jp

U R L : <http://o-fsi.w3.kanazawa-u.ac.jp/>